

わかる授業を目指して

羽島高校では「わかる授業」を追求するため、教員の校内研修として教科ごとの授業研究を進めています。今回（7月10日）はフードデザイン（家庭）の授業でした。

本時の目標は、「食料自給率の現状を知り、私たちにできることを考える。」です。

他国と比較し、日本の食料自給率の低さを気付かせるようにし、各自が考え、発表する場を多く設けたりしました。食品ロスなど生徒の食生活の問題でもあり、身近なことから改善しなければならないと気付かせるようにしました。今後どうしていくと良いか、何ができるのかを考えさせることで、生徒が意識して行動しやすいようにしました。

